

皆さんと学び考えるワークショップ「学びやすい学校の環境づくり」【第4回】

参加者意見(概要)

1. 日時・場所

平成 26 年 7 月 30 日(水) 午後 6 時 30 分から 8 時 30 分 尼崎市 小田公民館1階ホール

2. 参加者

市民の方 34名
(市側)市長、教育長ほか

3. 参加者意見概要

別紙1-(1)~(3)、及び別紙2-(1)~(2)

グループ内で意見交換した際に模造紙に書かれた意見や、意見交換を受けて用紙に書かれたご自身の意見を分類、集約しました。

4. 意見交換項目と主な意見(分類別)

問1 (1)空調設備や、(2)中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあると思いますか、また(3)子どもの生きる力や学力向上のために、必要なことは

意見交換内容の分類	
(1)空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力アップ、学力向上 ・体調管理(熱中症・アレルギーなど) ・財源確保や収入増加を、投資優先度について(子どもへの投資を) ・自治体間格差の解消、子育て世帯の人口流出の改善 など
(2)中学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当提供方法(自校炊飯方式など) ・自治体間格差の解消、子育て世帯の人口流出の改善 ・食育・バランス食、アレルギーへの対応 ・財源確保や収入増加、投資優先度について(給食完全無料) ・持参弁当(愛情弁当) ・家庭の事情への配慮(弁当を作れない世帯への配慮を) など
(3)生きる力や学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の業務過多 ・先生の質、人数配置 ・授業、学力向上 など

問2 今日の議題(皆さんの意見)を踏まえて、学びやすい学校の環境づくりのために何に力を注いでいくべきと思いますか

個々記載された意見の分類	
(1)空調設備について	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力アップ、学力向上 ・体調管理(熱中症・アレルギーなど) ・その他(空調の必要性、財源確保や収入増加策を、子どもへの投資を、自治体間格差、子育て世帯の人口流出) など
中学校給食について	<ul style="list-style-type: none"> ・食育・バランス食(子どもに格差なく食の心配のない中学時代を、安全・安心な給食を、自校炊飯方式を、など) ・負担軽減(親の負担など)、愛情弁当も大切、アレルギーへの対応 ・その他(財源の工夫を、小学校で作った給食を中学校に運ぶ) など
(2)生きる力や学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の業務過多、先生の質、人数配置 ・学校と地域の交流、 ・その他(高校学区再編、制服見直し、いじめ対策、空調給食同時導入) など

(詳細は別紙1-(1)~別紙2-(2)へ)

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見の共有前】)

【問1-(1)空調設備】

空調を導入することで、子どもや保護者にとって、どういうメリットがあるのか。(課題や解決策も含め)

※実際の意見交換では課題や要望、反論などが多数を占めたことから、下記では、意見概要を分類し、多く意見が交わされた項目順に掲載しています。

意見交換内容の分類 (メリット・課題・要望含む)	No	内容	意見数
集中力up・学力向上 (43件)	1	学力向上のために、集中して学べる環境が必要。授業は勉強するための時間だ。	11
	2	夏休みを短縮し、その分補習を。夏休みの日にちを変える。(休みの概念を変える・夏休みを長くするなど)	9
	3	教員側にもメリットあり。(集中力up)	5
	4	食欲も向上する。	3
	5	風紀的にはクーラーは必須。	3
	6	暑さを我慢してとはいえない。	3
	7	夏休みを自習室に開放すればよい。	2
	8	私立はクーラーがあるので夏休みも早くから授業がある。	2
		↓対して↑	
	9	集中力がないのは、先生に授業に引き込む力が無いのでは。暑さに負けない授業・指導力を。	4
10	空調で学力が上がるのか。学力を上げる子はどんな環境でも上げる。	1	
体調管理 (熱中症・アレルギー等) (43件)	1	環境が変わってきている。子どもが弱いわけではない。世の中の環境に合わせるべき。精神論だけではかわいそう。	20
	2	熱中症は命とり。汗で湿度も高くなる。	7
	3	制服を私服にすれば暑さも和らぐ(制服はアレルギーになる)	7
	4	アトピーの子どもは大変。	3
	5	筋力のアップを。低いと低体温に。	3
	6	子どもの冷えも問題。個々の対策も必要。それが許される学校であってほしい。	2
	7	授業中にお茶やスポーツドリンクを摂れないものか。	1
財源工夫・投資優先度 (42件)	1	グリーンカーテン、すだれなどの併用を。	13
	2	お金が無い、でなく作れる方法を探るべき。財源の確保、収入の増加策を。	8
	3	耐震化とあわせて導入することが合理的。	7
	4	利用の仕方ではランニングコストは変わる。除湿だけなど使い方の工夫を。	3
	5	いつから導入されるのかが気になる。	2

		↓対して↑	
	6	給食は1年、空調は2ヶ月。どちらかといわれれば給食が先。暑い時期は休みに入っている。	6
	7	空調・給食は同時進行すべき。	3
自治体間格差・人口流出 (12件)	1	空調=尼崎イメージアップ=子育て世代=定住。	3
	2	市の人口と今後のビジョンを考えるべき。子育てしやすい街が大切。みんな西宮に行ってしまう。	3
	3	尼崎に住んでいるとは言いづらい。自信を持って自慢できる尼崎にしてみたい。	3
	4	西宮の私立に行くと格差にびっくり。	1
	5	義務教育ならば国がもっと支えるべき。なぜ尼崎の中だけで考えるのか。	1
	6	近隣市の情報が欲しい。	1
子どもの快適さ (5件)	1	生まれたときから冷房のある生活をしている。	5
	2	↓対して↓	
		思いきり汗をかく機会もある。	3
	3	全校空調せずとも、雨水タンク水循環など、低コストで作れるのでは。エアコンにこだわらない方法もあるのでは。(ミストシャワー・スクリンプラー・外壁の色を変える、水で手や顔を洗う、服装での調整、朝早く登校、すだれなど)今しかできない体験だ。	3
	4	家でエアコンをつけず体温調整すればよい。(自分で体調管理も必要)	2
空調の使い方 (5件)	1	教室ごとの温度調整もできるように。	3
	2	空調の使い方を工夫すべき。ルールが必要。	1
	3	今ある空調も効かないものが多い。	1
学校間格差(1件)	1	中学校の半分に空調があるのに不公平。	1
意見数 総計			159

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見の共有前】)

【問1-(2)中学校給食】

中学校給食を導入することで、子どもや保護者にとって、どのようなメリットがあるのか。(課題や解決策も含め)

※実際の意見交換では課題や要望、反論などが多数を占めたことから、下記では、意見概要を分けし、多く意見が交わされた項目順に掲載しています。

意見交換内容の分類 (メリット・課題・要望含む)	No	内容	意見数
給食提供方法 (33件)	1	自校調理方式にすべきだ。栄養バランスもよく食中毒リスクも分散される。給食センターは敷地にお金がかかる。給食は小学校で作って中学校に運ばばいい。	19
	2	今の小学校給食はとてもおいしい。中学校にも。	3
	3	産地のわかったものがよい。	3
	4	小学校給食は200円台。中学校給食は300円台なので、コストが下がるのでは。	1
		↓対して↑	
	5	自校方式が難しいなら、民間(近所の食堂でもありではないか。	3
	6	中学校では弁当事業でいいのでは。	1
	7	弁当をいくつかの種類から選ぶ。	1
	8	安く上げるなら、弁当配達方式しかない。	1
9	うどん・カレー程度の購買部でも。(食堂を)	1	
自治体間格差・人口流出 (24件)	1	給食=尼崎イメージアップ=子育て世代=定住。	8
	2	市の転入を選ぶ点は①中学校給食、②医療費無料。(住みやすい・子育てしやすい尼崎になってほしい)	6
	3	市によって差の無いよう、国も施策を考えて欲しい。全国で差があるのはおかしい。義務教育なのだから。	4
	4	中学入学までに西宮市への引越しを考える人が多い。(保育所も多いのに、給食や学力、環境などを考え)	3
	5	小学校入学前に他市へ出ていっている。	2
	6	市外へ出て行くのは給食だけが理由ではないのでは。	1
食育・バランス食 (22件)	1	育ち盛り中学生で、昼の一食だけでもバランス食を取ることは大切。コンビニ弁当の子もいる。朝ごはん食わずに来ている子もいる。	7
	2	給食は食育につなげやすい。	6
	3	学校での給食で栄養を摂るべき。中学生は栄養が大事。	4
	4	給食するなら、温かいものは温かく。	2
	5	家庭からの弁当で、冷凍食品は問題。	2
	6	自分が中学生のときは弁当でいいと思ったが、働き出すと給食・食育は子育てにとってとても大事だと思う。	1
財源・投資の優先度 (18件)	1	子どもにお金を使って欲しい。先行投資。未来に収入増となる。	6
	2	給食は完全無料に。(義務教育なのだから)	4
	3	学校環境を良くすることで、子どもも大人も尼崎はいい、とプライドを持てる。大人が我慢するべき。	3

	4 子育てしやすい街に、子どもに投資を。	2
	5 統廃合した学校を給食配食センターにできないか。	1
	6 財源を工夫してほしい。	1
	↓対して↑	
	7 給食は最優先では無いと思う。	1
持参弁当(愛情弁当) (15件)	1 愛情弁当がいい。弁当を外に親と話げできた。	3
	2 残した弁当で親がいじめに気づく。	2
	3 空っぽになった弁当箱を見て元気に過ごせたことがわかる。	1
	4 弁当は子どもに合わせて作ってあげられる。	1
	5 弁当づくりの楽しさ。	1
	6 愛情弁当は安くすむ。	1
	7 中学校の弁当は自分でつくっていた。	1
	8 家族と食事をする機会が減っている。	1
	9 お弁当のメリットもあり。	1
	↓対して↑	
	1 弁当を作っていないから、愛情が無いとは言えない。	1
	2 家庭からの弁当が愛情があるという理由はおかしい。	1
	3 弁当づくりのとき、おかずをもらっていた。大変。	1
家庭の事情 (12件)	1 弁当を作れない人に目を向けるべきだ。	3
	2 朝ごはんはパンをかじりながら来る子もおり、愛情は関係ない。朝ごはんを食べれない子もいる。	3
	3 食は命の源。貧困家庭など。1食でもバランスのよい給食を。	2
	4 仕事が9時から5時の人は、今少ない。(もっと長く働いている)	2
	5 片親世帯も増えている。	1
	6 毎日家庭弁当を持ってこれない世帯もいる。	1
腐食・食中毒対策 (12件)	1 食中毒リスクが分散される。	8
	2 暑い中では弁当が腐る。	4
アレルギー・アトピー等健康面 (11件)	1 アレルギー・アトピーの問題あり。アレルギーは一般的であり対応は社会的にすべきだ。	9
	2 アトピーや好き嫌いなどは個々によって違う。愛情弁当ならその子によって対応できる。	1
	3 保育所給食は60名分のうち、10名分がアレルギー対応の実態がある。	1
同じもの・仲間意識 (7件)	1 同じ釜の飯、話も弾む。	3
	2 お弁当を隠す思春期の心理。	2
	3 お弁当(菓子パン)を取られた子がいる。皆見てみぬふり。	1
	↓対して↑	
	1 逆に、食事の内容が違うものでも話は弾む。	1
給食指導・学校生活 (7件)	購入弁当用にお金を持たせると、別のものを買って節約する。 1 お金を持たせなくする方法を。 (中学校は途中で買ってはいけないとのルールがある)	5
	2 給食指導に先生の負担が増える。授業準備の時間を先生に。	2
集中力・学力への影響 (7件)	1 食生活が整えば学力に関係する(基本は家庭だが)。心も豊かになる。	4

	2	食によって集中力UP。	2
		↓対して↑	
	3	私立中学校は給食は導入されていない。(給食と学力とは関係ないのでは)	1
負担軽減 (6件)	1	手間を省ける。	3
	2	共働きだと弁当作りの時間に手を取られ、子どもとの関わりが減るように感じる。	2
	3	給食はあってほしい。働き世代には。	1
給食費未払い(4件)	1	給食費未払い問題。	4
食事の量(個人差)(4件)	1	給食の量が足りない。個人差も大きい。	4
その他(1件)	1	給食で栄養のあるものを食べているから、家ではそんなに食べなくてもよいという声を聞いたことがある。	1
意見 総計			183

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

(空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見の共有前】)

【問1-(3)生きる力・学力向上】

生きる力や学力向上のために、必要なことは？

意見交換内容の分類	No	内容	意見数
先生の業務過多 (35件)	1	先生が忙しすぎる(クラブなども)。業務を簡素化すべき。	19
	2	先生が十分教育に向き合える環境と待遇を。 世界一忙しいのは日本の先生。人数も少ない。 先生は親からの苦情対応が大変。(親は権利ばかりを主張し、義務を果たさない)(家庭の悩みを先生に聞いてもらう苦情係のようなもの)(保護者に気を使いすぎ)	7
	3	忙しさを改善のため、学校にちょっとだけ有償のボランティアを。(地域の力で多様なクラブ活動)、シニア世代に学校を手伝ってもらう、保護者がサポートできないか。	7
	4	先生の精神的負担・メンタル問題が多くなっている。	1
	5	先生は1人親世帯への対応で時間が必要。	1
先生の質・人数配置 (22件)	1	先生が賢すぎ、コミュニケーション力が不足。	5
	2	親の働き方も多様化して、個別対応が必要である。(親対応専用の先生が必要)	3
	3	先生のサラリーマン化。	3
	4	先生の言葉遣いが悪い。	3
	5	若い先生が多い。(必死で指導してくれているが)	2
	6	学力向上は校長によっても変わる。	2
	7	教師の育成に力を入れて欲しい。	2
	8	先生の教え方のスキルの差。	1
	9	「尼崎の学校はダメだ」という先生もいるが、これはどうかと思う。	1
授業・学力向上 (21件)	1	勉強している子としていない子の差が激しすぎる。 (家庭環境が問題なら、もっと補習を)	7
	2	少人数学級を全学年に、複数担任を。	4
	3	家庭で学習する雰囲気ではないところが多い。(新聞や本を読まない)(親の就労時間も不規則で親も朝寝ている)	4
	4	通級学級を。	3
	5	もっと小・中学校連携してほしい。	1
	6	クラスが一つだとずっと同じクラスになる。	1
	7	マナー教育。	1
財源工夫・投資優先度 (21件)	1	子どもへお金をかけるのは未来への投資であり借金ではない。	7
	2	子ども医療費無料、保育料高い、お金をかけるところは子どもだ。	4
	3	子ども医療費無料が良いとは思わない。自己管理の問題も多い。	3
	4	税など収入をどう増やすかを考えるべき。(予算があれば空調も給食もできる)(人口を増やすこと、中小企業の活用など)	3
	5	のびのび遊ぶところがない。学校の校庭を開放するなど。	2
	6	文化的施設がほしい。	1

	7 未来を担う子どもへの投資を。その分大人がガマンすればよい。	1
自治体間格差・人口流出	1 子育てしやすいまちにしてほしい。 (他市への転出されてしまうのはもったいない) (子育て世帯の転出を防ぐ)	9
課外活動(クラブ等)	1 クラブ活動を多くして欲しい。(顧問の先生も)	4
	2 部活が忙しすぎて、家庭学習ができない。	2
その他	1 尼崎は保育料が高い、家賃は安い。	1
	2 道路の整備。(JR以南と以北でかなり異なる)	1
	3 お年寄りには尼崎は居心地がよい。	1
意見 総計		117

※意見数は延べ数

「学びやすい学校の環境づくり ワークショップ」での各グループ・参加者意見

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見を共有した後】

【問2-(1)】	今日の議題(皆さんの意見)を踏まえ、「学びやすい学校の環境づくり」のため、何に本当に力を注いでいくべきか?(その理由も含め)(1)空調と中学校給食
----------	---

※第4回以降(一般向け・中学生向け)の意見交換では、3回目までに出た多くの論点を情報共有した上で、課題への対応策などについて、視点や考えを深めていくプログラムとするなど少し進め方を変更しました。そのため、優先度に対する回答の記載が無い方が多いことから、その人数は参考値として掲載します。

【一般の方(平日夜開催)参加34名】

- ・空調が優先と答えた方:3名、・中学校給食が優先と答えた方:6名、
- ・同時と答えた方:7名、・(どちらが先か)無記載の方:18名

種別	理由の分類	こう思う・その理由の概要	集計
空調について	集中力up ・学力向上	エアコンは絶対に必要。今の気温では授業がまともに受けられない。あとはミストや緑のカーテン、打ち水などの対策をする。	1
		空調整備必要。	1
		この暑さの中、空調がないのはしんどいと思う。運動(体育)した後、集中して取り組めるのか。風紀の乱れ態度、学力に十分影響あると思う。学習するときは集中できる環境を整えてあげたい。	1
		空調がある所とない所があるとは知らなかった。市民なら平等にしてほしい。	1
		どちらかと言うと空調を急いでほしい。子どもの為にお金を使ってほしい。	1
		今行っている事業などを削ってでも早く付けてほしい。今の環境に合わせてあげないといけない。勉強の出来る環境を整えてあげたい。	1
		勉強すべき時に集中できる環境は大切だと思う。耐えるとか怠けるとかの問題ではない。耐震工事と同時に整えるのは工事費節約になるので良いと思う。	1
		エアコン導入してほしい。暑すぎると教師もイライラしてしまう。教師、子どもとも集中して授業が出来るようにしてほしい。	1
		各教室で温度調節できるものを設置することが前提。暑い中での勉強は集中力が途切れる。よりよい環境を整えてあげることが大人の義務だと思う。	1
		教室の室温は大変だ。	1
		空調については教員の集中力アップや、教育力の向上にも繋がっていくのではないかと。制服を着崩しする子どもを見かけるが風紀面で注意をするにしても空調が整っていないと指導もしにくくなってしまう。	1
		空調は大切。設備があれば、集中力アップに繋がる。	1
		空調は必要。空調があれば、夏休み補習で学力アップが期待できる。私立中学は8月25日頃から2学期が始まっている。	1
		今の子どもはクーラーの中で育っている。	1
		子どもの集中力を高めるためにも必要。家庭でも空調を入れるのが当たり前になっている。教室に集団で過ごす環境での暑さはかわいそう。各教室で温度の調節ができる形で導入できると良い。	1
		暑い中では勉強に集中できず、教室全体がぐちゃぐちゃしてしまう。しかし空調がついたからといって学力が上がるとは言い切れない。耐震工事と同時に設備を整えられるのが良い。	1
		生徒・教員ともに集中力が低下、学習の質が下がっている。暑さの質が山間部とも、昔とも違う。	1
体調管理(熱中症・アレルギー等)	地球温暖化による異常気候により空調設備の整備は必要と考える。	1	
子どもの快適さ	私たちが子どもの頃の暑さとは格が違うと思うので、子ども達には快適な環境で学習させてやりたい。	1	
	空調は必要。今の気候では安全のためにも必要。学ぶ環境を整えてやりたい。行儀の悪さを暑さの言い訳にしてしまう。	1	
	涼しい中での勉強がすこやかに学校に行き楽しい生活が送れることだと思う。	1	
弁当が傷みにくくなる	お弁当を持たせるのに腐敗が気になる。	1	
	空調が市内でついていない所が多い事を知らず驚いた。早急につけてほしい。	1	
学校間格差	エアコン以外にも緑のカーテン、ミストなど暑さ対策もできればと思う。	1	
	温度調整、時には空調をドライにするなどの配慮をすることも必要だと思う。	1	
	耐震化工事中の学校に対してはコスト削減の意味でも同時に設置すべき。ただし、学校間に不公平がないように進めてほしい。	1	
	飛行機の騒音公害措置により学校間の格差(北部と南部)は早急に改善すべき。	1	
その他	切実。即必要。空調がない方がおかしい。使い方については議論が必要、まず環境を整える。エアコンが無かったら、みんなの命の危険に繋がる。	1	

その他	給食は毎日の事なので給食が先だと思う。	1
	実施前提の議論。(方法、財源)財政面では工夫できる。「食べれない子」をなくす。未払い問題は先行して協議すべき。給食は無くてもよい人がいるので強いて先行投資するなら空調か食は命につながる。家庭環境で朝食を食べない、水筒を持たせない家庭もある。給食だけでも食べられることが命とその子を守ると思う。	1
	給食も早急をお願いしたい。「食」は人間生きていく上の基本だ。家の都合で朝食食べて行けない、お昼お弁当を持たせてくれない貧困家庭が多い。人を豊かにするのは「食」だと思う。	1
	空調と同じで給食も始めてほしい。お弁当を作れる人と作れない人がいるまわりと比べてしまふ。お弁当を作ってあげたいから、朝コンビニに走っておかず、ご飯を買ってお弁当につめる人もいる。栄養も生きる中で大切だ。	1
	親の状況は厳しさを増している。昔と違って愛があっても作れない、時間もない技術もない。昔の人は豊かな食文化を味わった経験がないと思う。親子方式などで、コストを下げてでも給食を実現させたい。	1
	貧困の問題も尼崎だけでは解決できない。中学生の給食は育ち盛りの問題ですので是非進めて心豊かな子どもを育てる尼崎であってほしい。	1
	義務教育で給食がないのは理解できない。未払いの問題が出てくるがみんなと同じ物を食べさせて、いじめ、体力の問題が減るのではないかと思っている。	1
	自校方式がベスト。設備にお金がかかるなら親子方式でも良いのでは。子どもにお金をかけるのは、投資すること。	1
	親子方式(小学校の給食室で中学校の給食を作る)だと、初期費用をおさえられる。	1
	「自校給食」を「地産地消」でやってほしい。義務教育の間だけでも給食を食べさせてあげたい。子育て、学校教育にたくさんお金を使ってほしい。	1
	中学校給食化賛成。自校方式希望。ただ、予算的に厳しく、すぐに無理なら売店や食堂などを先に設置してもらおうのもありでは。	1
	中学校給食の問題は、全国的には80%以上が実施している。尼崎も早急に実施すべき。その場合、自校方式をめざすことが子ども達にとって「食育」を考える上でも大事だと思う。	1
	導入賛成。自校給食・地産地消が理想だが、予算の問題の解決のため、できる範囲で、との考え方が必要だと思う。	1
	(近隣小学校との親子方式、廃校利用、購売部、民間参入の食堂など)	
	弁当方式にするなら子どもにお金を持たせる方法は避けるべき。紛失事件につながる。	1
	給食はするのであれば賛成。小中、全学校でやったら良いと思う。	1
	食事は満足に腹一杯たべれば堂々とした心が育まれる。	1
	食生活の向上=学力向上。	1
	是非実施してほしい。弁当をだす予算も助かるだろう。センターで吟味された栄養面も考えて。量の調整→大盛・並・大・中・小バージョン、容器、申し込み方法など。	1
	食事がきちんとしていてる子どもは勉強にも積極的に取り組む姿勢を感じる。子どもに投資することは、将来の尼崎市の人口増につながり都市に発展になる。	1
お弁当が、いじめ早期発見に繋がるという意見は新鮮だった(毎日残されたお弁当をみて気づく)。空っぽになったお弁当を見て親は安心する。	1	
中学校給食について 集計	45	
総計	85	

2. 空調整備・中学校給食・生きる力や学力向上等に関する参加者の意見【全体意見を共有した後】

【問2-(2)】 今日の議題(皆さんの意見)を踏まえ、「学びやすい学校の環境づくり」のため、何に本当に力を注いでいくべきか?(その理由も含め) (2)生きる力や学力向上など

種別	分類	意見の概要	集計	
生きる力・学力向上について	先生の質・人数配置	先生が本来の仕事(子どもと向き合い教育指導)以外に手を取られすぎている。保護者や地域が協力できることはないか。	1	
		先生たちの雑務を減らして子ども達の指導の仕方などを勉強してもらう時間を増やしてほしい。それがのちのち子ども達の学力向上にも繋がると思う。	1	
		先生バッシングより質の高い教育ができる教師を育てあげるにはこの多忙さをなんとかしたい。現場の人の意見を聞けて良かった。	1	
		中学校にクラブ担当の先生を別にほしい。担任がすると先生に余裕や時間がないように思える。若い先生多すぎではないか?OBの先生に補助に入ってもらっては。	1	
		キャリアを積んだ先生方が定年になり、若い先生方が多くなっている。支援の必要な子なども多くなっている、そのため先生方のみでは負担も大きく大変だと思う。	1	
		先生の負担を少しでも減らして、子どもと向き合う時間が出来ないでしょうか。	1	
		教師の多忙化を何とか考えてほしい。	1	
		少人数の学級にする(せめて30人以下)とか複数の先生がついて進めるなどしてほしい。尼崎で教師がしたいと思える先生を作るために空調も付けて、子ども達に給食を提供して、集中力をあげてほしい。	1	
		少人数学級にする、1人1人の子どもが大切にされて目が届く。	1	
		生徒の学力向上を望むなら優秀な先生方を選んでほしい。出身校の良い方を呼んでほしい。	1	
		教師の質の向上。コミュニケーションをもっと取れる先生たちにも心の余裕が必要。	1	
		先生方の言葉使いの改善を。(マイクで近所に聞こえている)。先生方も大変だと思うが、「人」の支援を増やし暴力ではなく「教育」をできるようにしてほしい。	1	
		通級学級、心の支援員を増やしてほしい。先生の授業準備などへの時間を確保すると共に増員を強く希望。設備を充実するのも大切だが、人を育てるために人を増やすのが今必要ではないか。	1	
		発達障害の子ども達の個別トレーニングやケアもないままの子どもが多勢いる。各校に通級学級を配置してほしい。先生方が特別支援教育を学んでほしい。	1	
		学校と地域との交流	ボランティアの学生さんに子どもとのかわりを増やしてほしい。先生以外の人(シルバーさん、地域の方々、教師で定年を迎えられた方)も入ってサポートできると良い。そうすれば、中学校の乱れも少しは軽減できるのでは。	1
			シニアが多くなる、多様な子どもが増えている、先生が忙しいので学校にちょっとだけ有償のボランティア(授業補助、クラス美化、クラブ指導など)をたくさん入れる。	1
			先生の言葉遣いが乱暴、すぐにでも改めてほしい。 尼崎教育方針には賛成。地域のボランティアなども積極的に活用しているところがよい。	1

授業・学力向上	点数ではかる学力ばかりが問題にされていますが、尼崎の子はたくましいし、生活力はあるのではないのでしょうか。幼稚園や保育所など基礎的な体力、健かな心を育てる場にも力を注いでほしい。	1	
	勉強する子としない子の差が大きい気がする。勉強する機会が少ない。子ども達に対してのフォローもしていただきたい。あと「大人って楽しいんだよ」的なワークショップをしてもらえたらと思う。	1	
その他学校に関すること	高校の学区制の全県制になったことは、子ども達をバラバラにしていくものでしかない。	1	
	制服をなくすことで暑さ、寒さも防げることになるのでは、制服を廃止してほしい。毎日洗えないので不潔、温度調節もしにくい。制服を導入しなければ規律を守らせられないというのは短絡的。制服はお金がかかる、いいことない。女子はスカートなので冬は寒い。	1	
	制服をなくすことを考えた方がよい。(アレルギーに悪い、不潔、暑い、Tシャツなど涼しい服装ができると暑さ対策になる。)	1	
	学校の先生が何でもできる人だと思うのは無理だ。常識的な事は家庭で指導するべきで、全部先生任せでは良い人間にはなれない。	1	
	いじめは先生のいない所で起きていると思うので、いじめ対策として教室に大人を入れたらイジメは少なくなると思う。	1	
	素行が悪い生徒にどう対処するべきか。私はもっと厳しく対処するべきだと思う。落ち着いて勉強ができないとの声が生徒から上がっている。	1	
	通学途中に帽子や長袖シャツを着るようにして紫外線対策をした方がいいと思う。紫外線はよくないので、健康面のためにも通学中は認めて良いのではないか。	1	
	まずは子育て出来る尼崎であるべきだ。他市を真似しなくても独自で市民の声を聞き作っていけばよい。	1	
	子育て、福祉、医療に重点を置いてほしい。医療費、保育料安い、学校の学習の環境が良い。(食、学力、質、体制(職員配置など)集中して学習に取り組みやすい環境、治安の良さなど)	1	
	子育て世代への財源投入をしてほしい。	1	
投資優先度・まちづくりなど	尼崎は住みやすく良い街であると思っています。子育てが上手く出来る楽しい街作りしてほしい。	1	
	尼崎から子育て世代が減っていくのは給食やエアコンがなく、医療費もかかるから。	1	
	財源を得るために、先行投資ということも是非考えて進めてほしい。	1	
	空調か給食ではなくどちらも財源を工夫して進めるべき。	1	
	市のお金がないのは高齢者の方、働き世代が減りつつある中での過去の借金によるものだと知った。だからこそ子育て世帯、若い人たちが子育てしやすい制度づくりが必要ではないか。	1	
	未来を担う子どもへの投資を。その分大人がガマンすればよい。	1	
	南部のところは道路の整備が悪い。文化的な設備等整備をして人口が少なくなっているのに、職員や議員が多すぎる。一番の問題は金だ。	1	
	今回のようなワークショップをまた計画してほしい。市民が市政を考えやすい機会になると思う。	1	
	総計		39

※意見数は延べ数

